

## 広報特別委員会視察研修報告書

平成 31 年 3 月 28 日

報告者 広報特別委員会

委員長 伊 澤 誠

1月17日から18日の2日間、先進的な議会だよりの事例を調査・研究するため、近畿市町村広報紙コンクールで優良賞を受賞された滋賀県甲賀市と、兵庫県町議会広報コンクールで優秀賞を受賞された兵庫県市川町を訪問し、行政視察を行いました。

両市町の議会だよりは、写真を多く使用し、全ページカラー印刷で視覚的にも読みやすく、今後の議会だよりの作成に大変参考となる、レベルの高いものでした。

### 滋賀県甲賀市

写真を多用することにより、視覚的に読みやすく見やすくするため、平成30年度より全ページカラー印刷にし、また動画配信サービスと連動させるためQRコードを入れており、QRコードを読み込むと議会の動画がスマートフォン等で見られるようになっていて、費用はほとんどかからないとのことでした。

議会だよりについて広報委員が街頭で市民アンケートを実施し、紙面作成に生かそうとされていました。

配布方法は3万部程を市内全域に新聞折込で配布するなど、経費は掛かるが非常に先進的な取り組みをされていました。

### 兵庫県市川町

表紙の「いちかわ」の筆文字を町内在住の小学生から募集し、町民参加の紙面作りを考察されていました。

市川町も全ページカラー印刷で、写真やイラストを多用し、視覚的にも分かりやすく見やすく工夫をされていました。

一般質問ページでは、質問や答弁の見出しを簡潔明瞭に8文字から12文字以内に収め、写真を使用することで分かりやすくなるよう工夫されていました。

議会広報紙の役割として、できるだけ分かりやすく見やすく親しみのある紙面作りを心がけることなど、活発な意見交換を行いました。